



未来の先生展
2017

これからの学びとICT

～フロントランナーと考える これからの学びと学校現場～

パネルディスカッション形式

開催日時 2017年 8月 27日(日) 12:30-14:00

場 所 武蔵野大学有明キャンパス 1号館3F 308教室

講演者 中村孝一 (NPO法人eboard代表理事)

内容

「AI」や「機械学習」などテクノロジーが進化していく中で、社会のあり方や働き方、そこで求められる力や求められる「学び」はどう変わるのか。「これからの学びや学校現場」について、教育ICT分野のフロントランナーと考えます。

NPO法人eboard代表の中村氏をモデレーターとし、パネルディスカッションに加わって頂くのは、小金井市前原小学校校長の松田校長先生、株式会社コードタクトCEOの後藤氏。松田先生は、公立小学校でありながら国や企業とも連携し、ICT環境を整備。基礎的な学習からプログラミング教育まで、教育ICTでの変革をリードされてきました。未踏クリエイターでもある後藤氏は、CEOとして、エンジニアとして授業支援システム「スクールタクト」を中心に教育ICTサービスを提供する傍ら、プロの指揮者としても活動されています。三者三様ユニークなバックグラウンドの登壇者と、これからの学びとICTについて、考えてみませんか？

ここに注目！

3名の取り組み・活動紹介の後、以下のテーマでパネルディスカッションを行う予定です。

- ・テクノロジーの進化や社会の変化によって、これから求められる「学力」はどう変わるのか。
- ・これから求められる「学力」を育むためには、どんな「学び」が必要か。ICTの役割は？
- ・学びの変化やICTの活用により、学校現場や先生の役割や環境はどう変わるのか。

以下のようなキーワードに関心のある方にオススメです。

教育ICT、Edtech、アクティブ・ラーニング、ブレンディッド・ラーニング、プログラミング



講演者プロフィール



NPO法人eboard代表理事 中村孝一

大学在学中に学習塾勤務や学習支援を通じて、教育格差を痛感。外資系コンサルティング会社勤務を経て、2011年7月に、eboardを立ち上げる。サイト開発、プロジェクト推進を行う傍ら、これまでに2000本以上の映像授業を制作。世界経済フォーラム（ダボス会議） グローバル・シェイパーズ・メンバー。



株式会社コードタクト代表取締役 後藤正樹

東京大学大学院総合文化研究科、洗足学園大学指揮研究所を卒業。経産省認定未踏スーパークリエイター。教育、ICT、音楽を繋ぐためコードタクトを設立、授業支援システム「スクールタクト」を開発する。また、総務省PMO、日本デジタル教科書学会役員を務める傍ら、指揮者としても活動しており、琉球フィルハーモニックオーケストラ指揮者などを務める。



小金井市立前原小学校校長 松田孝

東京学芸大学教育学部卒、上越教育大学大学院修士課程修了、2016年4月より現職。「地域IoT実装推進タスクフォース人材・リテラシー分科会」委員、「プログラミング教育事業推進会議」委員。「子供たちは毎日ランドセルを背負って、過去にタイムスリップしている」との危機意識をもって、情報端末積極的活用で、100年以上変わらない初等公教育のリデザインを実践する。